

本校では、教職員の支援のみならず、なごや子ども応援委員会や愛知県警察と連携するなど、さまざまな課題を抱える生徒一人一人に寄り添う支援体制を整えて教育活動を進めています。

なごや子ども応援委員会

中ブロック
(R5年度より独立)

さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親を総合的に援助するために、常勤の専門職が配置されています。子どもたちと普段から関わりながら、すべての子どもたちの健やかな発達を支援し、子どもたちが主体的に人生の針路を探ることができるよう応援しています。

なごや子ども応援委員会について

なごや子ども応援委員会リーフレット

→HPにリンク
バナーあり

☆ 伊勢山中学校は、なごや子ども応援委員会、中ブロックの事務局です。

「事務局」とは・・・伊勢山中学校内に子ども応援委員会の事務室が新設され、HP、SC、SSW、SS、SPの専門職が常勤しています。本校は、中ブロック事務局校として、中区の全小中学校を包括的に支援を行っています。それぞれの専門職を生かしながら、本校生徒の効果的な支援に役立っています。

- なごや子ども応援委員会スタッフが登校時や授業中に生徒を見守っています。



- ホットルームでは、SCによる個別相談（カウンセリング）を行います。1年生全員との面談も実施しています。保護者との面談を行うこともあります。



見守りサポート

「学校・警察連携制度に関する協定」（平成28年 名古屋市教育委員会）に基づき、本校では、愛知県中警察署生活安全課の協力を得て、スクールサポーターに『見守りサポーター』として見守り活動を行っていただいています。登下校時、授業中などに校内外を巡回するなど、生徒一人一人が安心・安全な学校生活を送ることができるような取組を行っています。

☆ 非行・問題行動など、保護者の方の相談も可能です。

- 登校時の見守りの様子



- 校内での見守りの様子



支援員

学校では、さまざまな要因により、生徒が通常に授業を受けられなかったり、教室に入ることができなかったりすることがあります。授業を受ける上で困難を感じるような場合も生じます。支援員は、そうした生徒に寄り添い支援をします。パートタイムで勤務し、個別の事例に対応しています。

あいあいルーム

R5年度より新設

本校は令和5年度より、名古屋市教育委員会の「校内の教室以外の居場所づくり事業」の実施校となりました。

様々な理由により教室で過ごすことができない生徒が校内の教室以外の居場所として、自学自習するルームです。一人一人が落ち着いて過ごすことができるように目的ごとに空間が作られ、自分自身で決めた予定に沿って利用します。使用した日は、出席として扱われます。

利用にあたっての希望、質問などあれば、伊勢山中学校までお問い合わせください。

保護者の方へ

不登校、いじめ、非行・問題行動など、お子さんの成長においてお困りのことがあれば、まずは学級担任またはSC（スクール・カウンセラー）にご相談ください。相談を通じて適切なアセスメントを行い、学校とご家庭とで手を携えて、ともに課題の解決に努めていきます。相談の過程で、学校外の専門機関などとの連携が必要であると判断される場合、保護者・生徒本人が希望される場合には、ここにあげたサポート体制も活用して、最も適切な機関等と連携し、それぞれのケース、生徒一人一人に応じたよりよい支援を進めてまいります。お困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

【想定される支援の例・・・登校を渋りがちになり、不登校が心配されるような場合】

まずは、学級担任にご相談ください。保護者の方が希望されれば、日程等を調整して、SCと面談していただくようにします。（直接SCに相談されるのも結構です。）相談を通して現状を把握し、適切なアセスメントに基づいて対応を検討します。

不登校にはさまざまな背景や態様があり、一律の対応ができるものではありません。だれが、どのように支援するのが最も適切なのかを判断し、保護者の方との共通理解の基、例えば、教室以外の別室に登校希望があれば、「あいあいルーム」で自学自習したり、小集団での生活を通して学校復帰を目指すのであれば「子ども適応相談センター（フレンドリー・ナウ）」へ繋いだり、訪問支援が適切と考えられる場合には「ハートフレッドなごや」に繋いだりというように、必要に応じて学校外の機関とも連携しながら、生徒本人の自立に向けた最善の支援を進めていきます。

連携する関係機関の例

名古屋市子ども適応相談センター（フレンドリー・ナウ）、ハートフレッドなごや、中央児童相談所、中区役所民生子ども課、愛知県警察中警察署生活安全係、その他（医療機関など）